

ナショナルサイクルルート制度の概要



1. ナショナルサイクルルート制度について



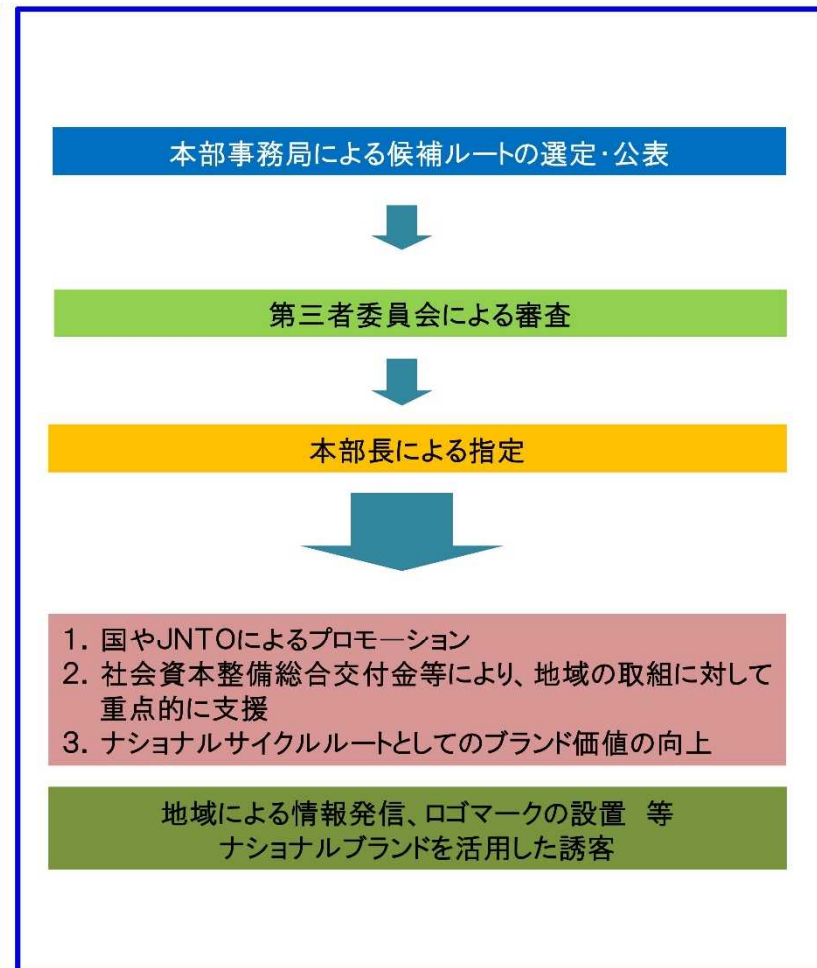
令和元年9月9日
自転車活用推進本部決定

- 優れた観光資源を有機的に連携したサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、一定の水準を満たすルートを対象として「ナショナルサイクルルート」に指定する。
- ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、新たなルートの指定の有無の確認については、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施する。

■ ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件
1. ルート設定	①サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること ・ルートの延長が概ね100km以上であること(島しょ部を除く) 他
2. 走行環境	①誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ・矢羽根等により自転車通行空間が整備されていること 他 ②誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること ・経路などの路面表示、案内看板が設置されていること 他 (単路部概ね5kmごと、すべての分岐部)
3. 受入環境	①多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること ・鉄道駅などに、レンタサイクルや着替え場所等が整備されていること 他 ②いつでも休憩できる環境を備えていること ・サイクルステーションがルート上に概ね20kmごとに整備されていること 他 ③ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること ④サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること ・ルート直近にサイクリスト向けの宿泊施設が概ね60kmごとにあること 他 ⑤地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること ⑥自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること ⑦緊急時のサポートが得られる環境を備えていること ・救急車などが概ね2kmごとに到達できること 他
4. 情報発信	①誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること ・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信をしていること 他
5. 取組体制	①官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

■ ナショナルサイクルルートの指定手続き



2. 第1次ナショナルサイクルルート候補ルートについて

令和元年9月9日
自転車活用推進本部決定

走行環境の整備及びサイクルツーリズム推進に向けたソフト施策の取組が一定程度進んでいる、下記の3ルートを選定。



つくば霞ヶ浦りんりんロード

■概要
JR岩瀬駅～JR土浦駅間及び霞ヶ浦湖岸一周(茨城県)
延長: 約180km

■取組内容

【走行環境の整備】



(矢羽根とルート案内)

【サイクルツーリズム推進のための取組】



英語、繁体字に対応したマップ、観光情報も充実



凡例
つくば霞ヶ浦りんりんロード
ゲートウェイ



りんりんスクエア土浦(ゲートウェイ)
茨城県が主体となって、土浦市と連携し整備した全国初の鉄道駅直結サイクリング拠点(2018.3.29開業)



りんりんポート土浦(ゲートウェイ)
サイクリング拠点「りんりんポート土浦」(2019.3.30開業)

しまなみ海道サイクリングロード

■概要
JR尾道駅前(広島県)～サンライズ糸山(愛媛県)
延長: 約70km

■取組内容

【走行環境の整備】



車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと路面標示を整備

【サイクルツーリズム推進のための取組】



サイクルオアシス

尾道駅 おのたびゲート(ゲートウェイ)

今治駅(ゲートウェイ)

ONOMICHI U2(サイクリスト専用ホテル)

しまなみサイクルトレイン(JR四国)



凡例
しまなみ海道サイクリングロード
ゲートウェイ

ビワイチ

■概要
琵琶湖岸一周(滋賀県)
延長: 約190km

■取組内容

【走行環境の整備】



案内看板設置例

矢羽根設置例

【サイクルツーリズム推進のための取組】



湖上交通活用例(守山市 漁船タクシー)

米原駅サイクルステーション(ゲートウェイ)

サイクルサポートステーション(トイレ・ポンプ貸出、休憩所等)

マップ(日・英・中(繁)3言語版を作成)



凡例
ビワイチ
ゲートウェイ

(1) つくば霞ヶ浦りんりんロード (茨城県)



○サイクリングを核に筑波山や霞ヶ浦などの豊かな地域資源を結びつけ、東京圏からの優れたアクセス性を活かしながら、誰もが多様にサイクリングを楽しむことができるサイクリング環境を構築している。

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行空間の整備

・旧筑波鉄道の廃線敷を利用し整備した「つくばりんりんロード」と霞ヶ浦湖岸の道路を一体化し総延長約180kmとなるサイクリングコースとして設定している。



(矢羽根とルート案内)

○ルート案内や注意喚起等のサイン整備

・初めて訪れたサイクリストでも分かりやすいルート案内や安全で快適に走行できるよう多言語による注意喚起等のサインを設置している。



(多言語のサイン)

【使用言語】

- ・日本語
- ・英語
- ・タイ語
- ・中国語
- ・韓国語

サイクルツーリズム推進のための取組

○最新スポーツバイクによる広域レンタサイクルシステムの導入

※貸出施設(10箇所), 貸出自転車(スポーツバイク等109台)

○地域の魅力を活かしたサイクリングイベント等の開催

○多言語に対応した情報発信

○JR駅直結のサイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」の整備

○車利用者向けのサイクリング拠点施設「りんりんポート土浦」の整備

○官民一体となった推進体制を構築

※つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会(2018年7月~)

⇒サイクルツーリズムの取組を県内全域で推進



協議会の設立総会



英語, 繁体字に対応したマップ、観光情報も充実

りんりんスクエア土浦
茨城県が主体となって、土浦市と連携し整備した全国初の鉄道駅直結サイクリング拠点(2018.3.29開業)

りんりんポート土浦
サイクリング拠点「りんりんポート土浦」(2019.3.30開業)



【広域図】



つくば霞ヶ浦りんりんロード
自転車利用者数(人)
R2(目標) 約10万人



H30 約8.1万人
H29 約5.5万人
H28 約4.8万人
H27 約3.9万人

(2) ビワイチ (滋賀県)



日本最大の湖「琵琶湖」を一周する「ビワイチ」を中心に、サイクリストから家族連れ、海外旅行者などの多様な来訪者が県内各地を安全に自転車で周遊できる環境を構築している。

安全で快適な自転車走行環境の構築

○路面整備

青矢羽根の設置や植栽帯を活用した路肩拡幅、自転車歩行者専用道路の指定により走行空間を確保

○案内看板



案内看板設置例



路面表示設置例



植栽帯を活用した空間創出例

自転車観光の推進のための取り組み

- サイクルサポートステーション、レンタサイクル拠点の整備
- 自転車搭載船の運行(湖上交通の活用)
- 「ビワイチ」ツアーの造成にむけたトッププロモーション、ファムツアー
- 「ビワイチ」ツアーガイド養成など、おもてなし人材の育成
- 情報発信(WEB、アプリ、イベント出展等)

※「ビワイチ」を中心に内陸部の県内各地を周遊する「ビワイチ・プラス」を展開し、自転車観光を推進することで、本県の認知度向上や交流人口の増加を図り、地域活性化につなげていく。



サイクルサポートステーション
(トイレ・ポンプ貸出、
休憩所等308カ所:R1.7現在)



湖上交通活用例
(守山市
漁船タクシー)

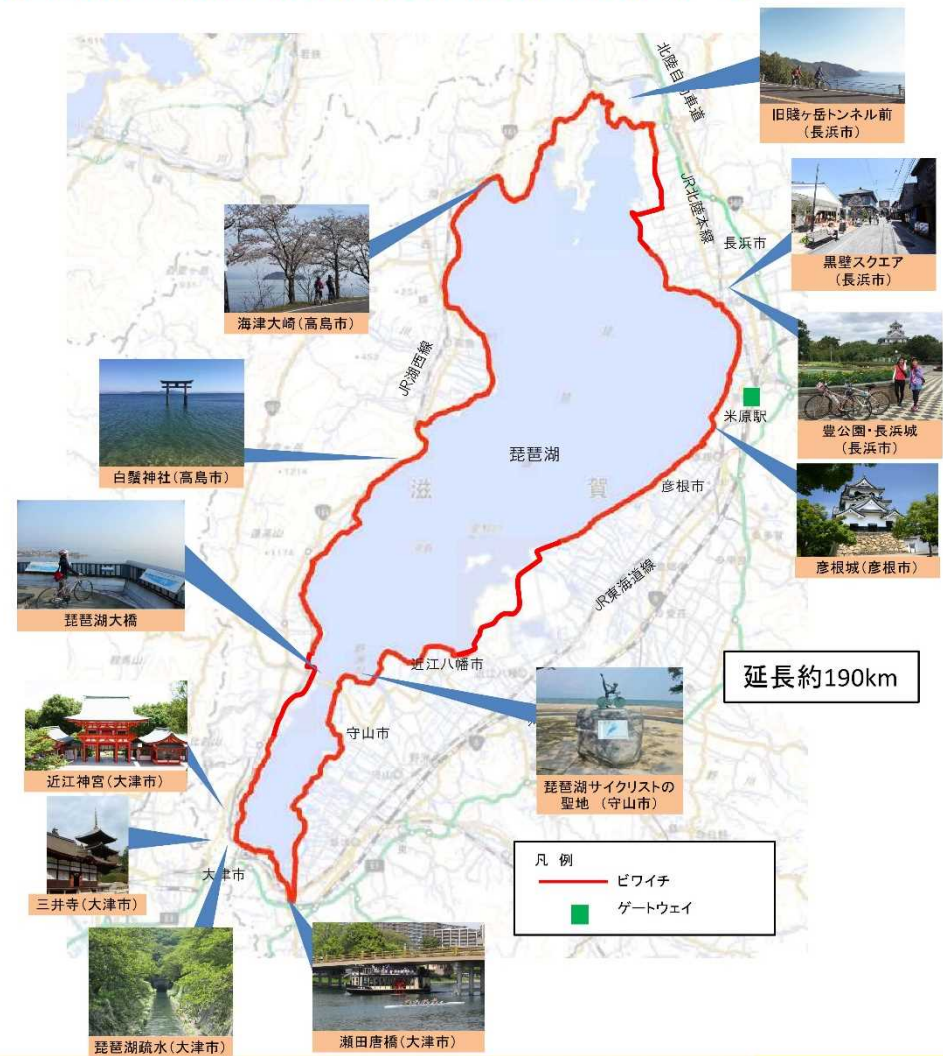


レンタサイクル
の拠点整備
(米原駅
サイクルステーション)



マップ
(日・英・中(繁)
3言語版を作成)

ビワイチ走行台数(人数) ← H30 約10.6万人
R2(目標)16.5万人 H29 約9.5万人



(3) しまなみ海道サイクリングロード (広島県、愛媛県)



○瀬戸内海の島々が織りなす絶景を望む、日本初の海峡を横断する自転車道として、官民一体となり、サイクリング環境向上の取組みを継続的に推進し、更なるブランド力の向上を図っている。

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行環境整備(ルートの明示・案内表示)

- ・ 車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと路面表示を整備
- ・ 歩道幅員を再配分し路肩を拡幅
- ・ 主要交差点に矢羽根を設置



- ・ 平成26年7月19日より自転車通行料金の無料化を実現し、料金所で一旦停止する必要がなくなり、利用環境が格段に向上

サイクルツーリズム推進のための取組

- 地元との協働による休憩スポット・レスキューポイントの整備
- 自転車を直接持ち込めるサイクルバス、サイクルトレイン、サイクルシップの運行
- 全国初のサイクリスト専用ホテルがオープン(H26.3)
- 民間企業の協賛によるセーフティマット・広告看板の設置
- 国際サイクリング大会の開催(2014・2016・2018・2020予定)
- H26年に米国CNN「世界7大サイクリングルート」に選定。ニューヨークタイムズで「2019年に行くべきデスティネーション」(52エリア)に「瀬戸内の島々Setouchi Islands」が日本で唯一選出。
- HPに英語版サイクリングマップ掲載、英語版グーグルマップにおけるルート及びレンタサイクルターミナルの表示(R1.7)
- 外国人観光客向けHP「VISIT HIROSHIMA」に多言語(英・仏・韓・中)でしまなみ海道のサイクリング情報を掲載



サイクルオアシス
(約150箇所H30.9現在)



企業協賛によるセーフティマット設置等
(45社協賛)



ONOMICHI U2
(サイクリスト専用ホテル)



しまなみサイクルトレイン(JR四国)



CNN「世界7大サイクリングルート」に選定



多言語に対応したHP



サイクリングしまなみ2018

平成30年参加者: 7,215人
(うち海外26の国と地域から701人)





1. 走行環境

◆大津市内（JR大津駅北、琵琶湖ホテル付近）



- 交通量13,000台/日以上の間（延長：約2km）
- 100m間隔の矢羽根+10m間隔の青破線で整備
- ルートの案内と自転車の走行空間の明示が目的
- NCRの指定基準を満たさないため、山側の県道への迂回ルートを検討中



1. 走行環境

◆守山市内（琵琶湖マリオットホテル付近）



- 上級者と中/初級者（家族等一般）の両者を対象とした走行空間整備
- 上級者向け：原則車道（自転車レーン、車道混在）
- 中/初級者向け：自転車歩行者専用道路、公園内通路等
- 既存の自転車歩行者道に必要な拡幅、安全対策等を行い、専用道路指定（専用道路の構造基準を県条例で規定）



2. レンタサイクルの状況

◆ JR大津駅



- 駅直結の観光案内所でクロスバイクのレンタルを実施 (観光案内所玄関口に自転車設置)
- レンタル料金 1,800円/日、250円/時間





3. その他（魅力づくり、PR）

◆琵琶湖サイクリストの聖地碑（守山市、第二なぎさ公園内）



- 琵琶湖北側を一望できる絶景スポットに設置（2017年4月）
- サイクリストが記念撮影をしてSNSに投稿する箇所として、ビワイチの国内外へのアピールにつながっている